

古賀市立古賀東中学校 令和4年11月22日(火)発行
校長 柴田 重法

3年生	141名
2年生	98名
1年生	136名
全校	375名

東風の霜月 学校通信17号 回覧用

3年生は希望進路決定の時期になりました！

11月4日(金)に進路決定のための情報の提供と、手続き上の留意点についての説明会を行いました。いよいよ11月末から始まる三者面談では、志望する学校を決定することになります。今、希望進路を決定するにあたって思い悩んでいる人がいるかも知れません。それは多くの中学3年生が抱えている悩みです。決して一人ではありません。これから決めなければならないこと、手続きを行わなければならない日が一日、一日と近づいていきます。これから希望する進路の最終決定にあたり、不安や悩むことが多くなるかもしれませんが、気持ちを強くもって希望進路の実現に向けた学習に取り組んでほしいと願っています。決めたことに向かって努力することに大きな意味があり、そこに次につながる成長があるものだと思います。より自分らしい高校生活を送れる進路を選択してほしいと願います。そのためにも、保護者の方や先生の話をご参考にして、自分自身の進路を自分で決定し、「やる時はやる」「やることはやる」「あきらめずにやる」という気持ちをもって、粘り強く学習に取り組んでください。



定期考査と日頃の学習について

11月9日(水)～11日(金)にかけて、後期の中間考査を実施しました。誰もいい点数を取りたいと思うはずですが、考査前になると、日頃以上に学習に取り組んでいる様子が見られます。部活動の停止期間になると、朝早くから登校して学習している人たちなど、意欲をもって取り組む姿勢に感心しています。これまで、「中学生の家庭での学習時間は、どのくらいですか?」と質問されることがありました。私は、日頃の家庭における学習時間としては、「学年+1時間」と答えています。しかし、これはあくまでも目安であり、大切なのは「集中力」と「継続」です。毎日コツコツと自主的に学習する習慣を身に付けることが最も大切なことだと思います。

学校では、「指導と評価の一体化」ということが言われています。これは、考査などによる評価は次の指導につなげるためのもので、授業での教科指導と授業や考査などの評価を一体として考えなければならないということです。生徒の学力を確かめ、そこからどうやってその子を伸ばすかを考えることが目的となっています。成績のつけ方も、集団の中で何番目くらいかで測るのではなく、学ぶべき内容をどれだけ到達したかを測る「絶対評価」となっています。

テスト前の学習も大切ですが、返ってきた答案で解けなかったところをしっかりとやり直して理解することが大切です。



持続可能な社会の実現を私たちの地域から



11月11日(金)、はじめて取り組む1年生を対象にSDG'sの視点から地域貢献活動の意義について考える場を設けました。古賀市を中心に環境問題の改善に取り組まれているNPO法人エコけん様をお招きして、講話をいただきました。講話の冒頭で、「環境は地域から地球全体に関わるもの」「私たちの未来は私たちがつくと希望をもって活動したい」という言葉に始まり、生徒たちは講話に引き込まれていきました。古賀の海岸には、小さくてカラフルなマイクロプラスチックがたくさん漂着しています。プラスチックのゴミが5ミリ以下に小さく砕けたものなので、回収がとても難しくなります。魚がエサと間違えて食べ、その魚を人が食べるという食物連鎖で人体への影響が心配されています。また、古賀の海岸に漂着しているその他のゴミを選別すると30種類程になります。今後、このようなゴミが海に生息する魚より多くなるのではない

かと問題が指摘されています。ゴミは海の生物の生存に影響を与えるだけでなく、自然の景観や船舶、経済的にも影響を与えます。では、これらのゴミはどこから漂着したのでしょうか。海外からのものと思いがちですが、実は7割以上が日本のものです。浜辺でのバーベキューや暮らしの中で出るゴミが、水路から川に流れて漂着しています。ポイ捨ての可能性が高く、大きな原因となっているようです。つまり、海ゴミを減らすためには、陸ゴミを減らすことが必要となるわけです。落ちていたゴミを陸にあるうちに拾うことが地球を守ることになるので、地域のゴミを回収する地域貢献活動は、まさしく「地域から地球を守る取組である」と言えます。しかし、どうしても回収できないマイクロプラスチックがあります。それは、日常生活で使っている洗顔クリームや歯磨き粉に入っているものです。成分表示を確認して使用するなど、未来の海や地球の保全につながるとして生活することも持続可能な社会の実現に貢献します。

地域貢献活動事前ブロック集会

地域貢献活動の前日、11月11日(金)に、3年生のブロックリーダーが中心となって、清掃を行なうルートや準備物、注意事項等を丁寧に説明した後、3年生全員が各班のリーダーとなって打ち合わせを行いました。3年生は、体育会や文化発表会での経験がこの場面でもキラリと光っていました。



明日は教育の日です。みんなで私たちの住んでいる地域をきれいにするために地域清掃活動を行ないます。清掃活動は東風魂四訓にもある環境美化に入るので、今後の学校生活にも生かしていけるように取り組ましましょう。日頃から利用している場所やこれまで住んできた地域に感謝の気持ちを込めて清掃しましょう。そして、この活動が今年のブロックで活動する最後の行事になります。体育会、文化発表会と1年間ずっといっしょに活動して、一緒に成長してきました。この最後の活動でも、班で声を掛け合ったり、協力し合ったりできたらいいなと思っています。全員で、明日がんばりましょう。 赤ブロック長 3年2組 福島 汰人



古賀市教育の日に、全校生徒で地域貢献活動を行ないました！

子どもたちが変化の激しい時代の中でたくましく生き抜く力を身に付けるために、学校、家庭、地域が一体となって、子どもたちを育てていくことが求められています。学校教育と社会教育の連携を強め、社会全体が一体となった教育を実現するために、福岡県では11月をふくおか教育月間と定めています。古賀市も11月を古賀市教育月間と定めるとともに、第2土曜日を「古賀市教育の日」として、地域を愛し、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成を推進する機会として制定されました。

本校では、教育の日にブロックで割り当てた区域の清掃活動とおして、日頃お世話になっている地域に感謝の気持ちをもって貢献しようと、歩きながら道路のゴミを拾う清掃活動に取り組ましました。



清掃活動に取り組んでいる生徒の皆さんに、地域の方々から感謝の言葉をかけられました。また、学校にも感動された丁寧なお電話を頂きましたので紹介いたします。

11月12日(土)10時30分 「私はコンビニを経営していますが、お店の周りにゴミを捨てる人がいます。今回のように中学生がゴミを拾っている姿を見ると、大人も子どももポイ捨ては止めようという気持ちになれます。この取り組みに感動したので電話をしました。このような取り組みをしてくれた生徒の皆さんにぜひお礼を伝えてください。」

地域の方々、生徒の皆さんの献身的な姿を評価してくれていました。ゴミを学校に持ち帰った後も分別もしっかり行なう姿に、私も感動しました。素晴らしい!!

